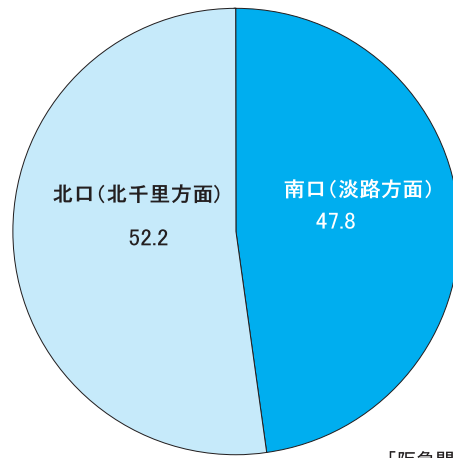


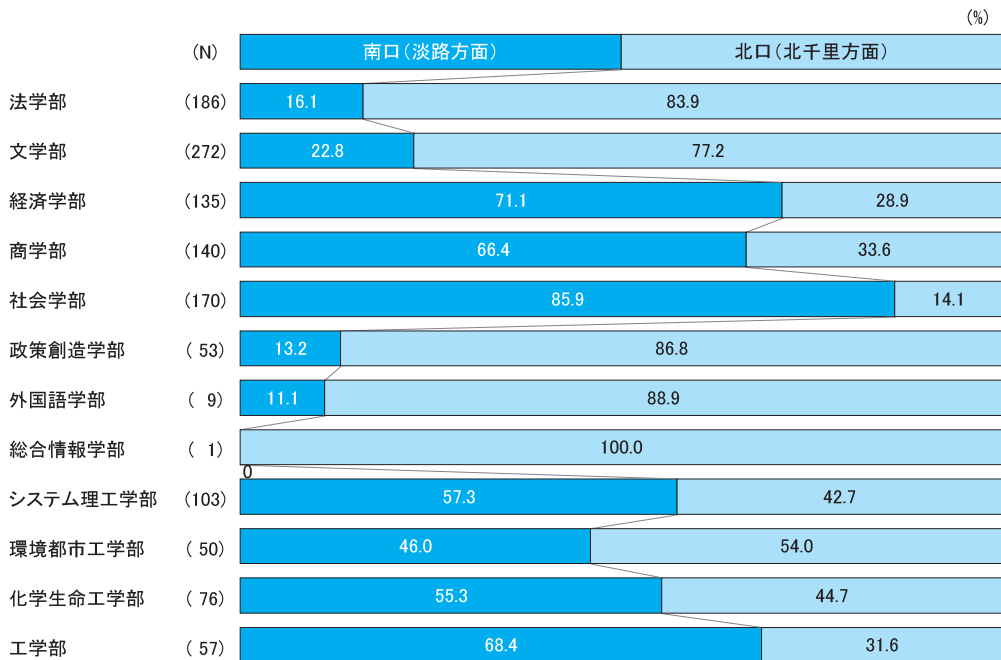
1-5 関大前駅利用出口

Q8

《前問(Q6)で「阪急関大前駅」とお答えの方にお伺いします》
あなたは阪急関大前のどちらの出口を主に利用していますか。(回答はひとつ)



「阪急関大前駅」利用者



「阪急関大前駅」利用者〔学部別〕

エスカレータ設置の効果あり。「北口」「南口」をほぼ半々で利用。

通学時に「阪急関大前駅」を主に使用している学生(1,252人)に、「北口」と「南口」どちらの出口を主に利用しているか聞いたところ、「南口(淡路方面)」の47.8%に対して、「北口(北千里方面)」が52.2%となっており、主要な出口は概ね2分される。

「阪急関大前駅」については「北口」が非常に混雑する傾向にあり、この「北口」から続く「関大前通り」には学生が溢れ、ピーク時には車の往来も困難になるほど混雑することがある。より多くの学生が「南口」に流れるよう、平成20年4月に新設されたのが南口からのエスカレータである。「南口」からつづく「南門」から構内に入ると、急勾配の坂が続くため、辛い思いをする学生も多いだろう。しかしエスカレータの新設により、この坂を歩いて登る必要がなくなり、学生の負担も軽減していると思われる。

この調査結果からみると、「関大前駅」の2ヶ所出口をほぼ半々で利用しているようであり、過去に調査を実施していないため利用率比較はできないものの、エスカレータ設置の効果が現われている結果であるといえる。

学部別にみると、「南口」が多いのは、社会学部が突出、以下、経済学部など。一方、「北口」主利用が目立つのは政策創造学部、法学部、文学部となっている。やはり学舎の場所が近い出口を利用しているようである。